

「幸福」

幸福とは、何を持っているか、何をすることができるかということではない。心の中から自然に湧いてくる小さな希望を感じとること、そしてその喜びをそばにいる人と分かち合うことができること。
 (いのちの言葉 日野原 重明)

夏が終わり過ごしやすくなる秋は、少しずつ夜の時間が長く感じられるようになります。疲れが出やすいため自分を労わる時間を持ち、興味あることにじっくり向き合う良い季節です。読書をして物語に浸ったり、好きな香りに包まれ癒されたり、時にはゆっくり夜空を見上げることで穏やかさを取り戻す事が出来ることでしょう。そして、心の中から自然に湧き上がる感動を、家族や友達など身近な人と分かち合えることは何ものにも代えがたい喜びではないでしょうか。

大人が感じる何気ない日常の中にも、子どもたちは初めての経験に包まれ、新しい発見や気づきに目を輝かせながら、保育者や友だちに伝えてくれます。「このお花きれいだね」「先生、見て見て」「なに？」と他者との交わりを重ね、嬉しさや悔しさなど様々な葛藤を通して、共有する思いが生まれていきます。一見、脈絡のない行動や突発的な行為にも背景があり、それを周囲の人々が想像し理解することで、思いを共にしていけることでしょう。認められ、気持ちに添えてくれる人との関わりの中で蒔かれた種が「言葉」や「行動」によって芽を出し、優しさを知って「花」を咲かせる、それを俵せと呼ぶとしたら、皆さんはその花をどうするでしょう。隣り合う人と分かち合うのではないのでしょうか。幼子の隣にいるものとして、一人ひとりの気持ちに寄り添い豊かな心の交わりを続けられるよう努め、3園合同の運動会では、子どもたちの成長した姿を保護者の皆さまと感じていきたいと思ひます。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子
 職員一同

10月聖句

羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。

ヨハネによる福音書10章16節

10月主題

「たのしいね」0歳

- ・保育者と一緒に祈ったり、さんびかを歌ったりする。
- ・友だちや保育者との関わりを楽しみながら、存分に遊ぶ。
- ・季節の移り変わりを全身で感じる。

「ひろがる」1・2歳

- ・保育者と一緒に賛美したりお祈りしたりする。
- ・友だちと興味のあることや面白いことを一緒にして、つながりを感じる。
- ・季節の変化を感じ、楽しむ。

～子どもたちの姿～

朝夕の寒暖差に園庭のコキアも赤く色付き始めゆっくり秋が近付いて来しました。この頃は子ども同士の会話も少しずつ増え、ままごと遊びでは、「これどうぞ」「ジュースですよ」とちょっぴり大人の真似をしてやりとりを楽しんでいます。また戸外では、カラー積み木を色別に並べて倒したり、数唱しながら集めるなど色や数への興味や関心も深まっています。又、運動遊びでは一本橋を両手を広げてバランスをとりながら渡るなど平衡感覚が備わり、一人ひとりの身体的発達も著しいです。今月もそれぞれの思いを受け止めながら体調に留意し、心と身体を育む活動を楽しんでいきたいと思ひます。



【10月の讃美歌】

きみがすぎだつて

【10月のうた】

おおきなりのきのしたで まつぼっくり
 どんぐりころころ

	月	火	水	木	金	土	日
10月の予定表							1
	2	3	4	5	6 運動会	7	8
	9 スポーツの日	10	11 身体測定	12	13	14	15
	16	17	18	19	20 避難訓練	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31 クレイシュ通信					
	◎10月6日(金)に合同運動会を実施致します。詳細は別紙にてお知らせいたしますので、ご確認をお願い致します。 ◎気温差が激しい時期になり、疲れやす(体調を崩しやす)いため体調変化がある場合は早めの休息、受診をお願い致します。 ◎気温に応じて衣服を調節いたします。半袖と薄手の長袖の用意をよろしくお願ひ致します。						